

請 願 文 書 表

(子ども若者はぐくみ局)

受 理 番 号	2 8	受 理 年 月 日	令 和 5 年 12 月 6 日
件 名	市営聚楽保育所の存続		
要 旨	<p>京都市は、市営聚楽保育所の廃止条例を市会での十分な審議もせず、保護者や地域住民への説明も不十分なまま決定した。しかし、現在在籍している園児の保護者や既に入所申込みを受理された保護者が入所を拒否されるなど、保育を必要としている親も子供も、廃止条例のために大きな被害を受けている。市は廃止の理由をニーズがないと説明しているが、ニーズがないどころか現に二人目、三人目の子供の入所を希望している人やこれから子供を産む予定の人からも入所希望がある。</p> <p>近隣住民からは、この地域で子育て世代が増えているのに、なぜわざわざ市営聚楽保育所を廃止するのか疑問視する声が上がっている。子育て環境日本一を掲げる京都市で、毎年400人近い潜在待機児が発生しており、希望する保育所に入所できないがために退職を余儀なくされる保護者もいる。生まれてきた子供も保護者も京都市に住んでいて良かったと本当に心から思える子育て応援を是非お願いする。どうか保育所の廃止はやめてほしい。</p> <p>ついては、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市営聚楽保育所を廃止しないこと。 2 市営聚楽保育所の新規入所受入れを直ちに再開すること。 <p>なお、本請願について、署名2,383筆を添えるとともに、web署名も78筆寄せられていることを申し添える。</p>		
請 願 者			
紹 介 議 員	平井 良人、山本 陽子、やまね智史、えもとかよこ、井崎 敦子		
付 託 委 員 会	文教はぐくみ委員会		